

「いろいろな様子ことばを知ろう」

今回は様子ことばです。雨の降り方でも、「しとしと、ぱらぱら、ぽつりぽつり、ざーざー」などいろいろなことばがありますね。

体験した音や感触をことばで表現するのは難しいですが、身につくことで、会話の表現がぐんと広がります。

ここでも普段の声かけで様々な「様子ことば」に慣れること。そしてどんどん使ってみてください。

① 普段の声かけにひと工夫：(例)「雨、どれくらい降ってた？ ぱらぱら？ざーざー？」

② 「どんなようすか」を聞いてみる。または大人が感じたことを口に出して言う。

(例) ・のりもの、食べ物など：「どんな音がする？」

・「クリームが手について、べたべたになっちゃった」

③ 身振りや動作カードなどを見ながら：

(例)「うがいは、くちゅくちゅ？がらがら？」

「(食べ物) 熱いから、どうする？」

～いっしょに遊ぼう～

同意の必要な遊び

確実に子どもの同意が必要な遊びがあります。うなずくなどしぐさで表現できれば十分。遊ぶと「うん」「いいよ」とやさしく答えてくれる子ども達です。

本来、子どもの同意、了解は全ての事柄に必要なはずですが、生活する中では、そういう訳にもいかない事が多々ありますね。

『しゃあないなあ』や『しぶしぶ』でも良いのです。子ども自身がそれを選択した、理解したという事が物事に取り組む上で大切になります。

紹介する遊びは1歳から3歳児の年少組くらいが楽しいでしょう。「いや～」「だめ」と言ったらその言葉を尊重して次に進みます。NOは素直に大人が受け止める大事な言葉です。遊びたいのに冗談めかして言う時でも同様です。『やりたくないNO』と相手の行為に対し『やめてNO』の違いが大きい事を子どもも体験していきます。

《二階へあがらしてや？》

子どもの手(掌)を取り、その腕を反対側の指で登る

二階へあがらしてや？

OKの返事があれば2本指を肩の手前まで走らせる

屋上へあがらしてや？

返事を待って肩から頭の上まで指を運ぶ

屋根へおろしてや？

頭の上から肩へ降りる

階段を～

子どもの返事なしで握っている手(右手)を持ち上げ

こちょこちょこちょ

右脇をくすぐる

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます
夢と希望のもてる たからっこを
応援します！

宝塚市教育委員会 幼児教育センター

〒665-8665 宝塚市東洋町1-1

電話 0797-71-1141(市役所)

0797-77-2132(直通)

FAX 0797-71-1891

E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp



★ 発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。